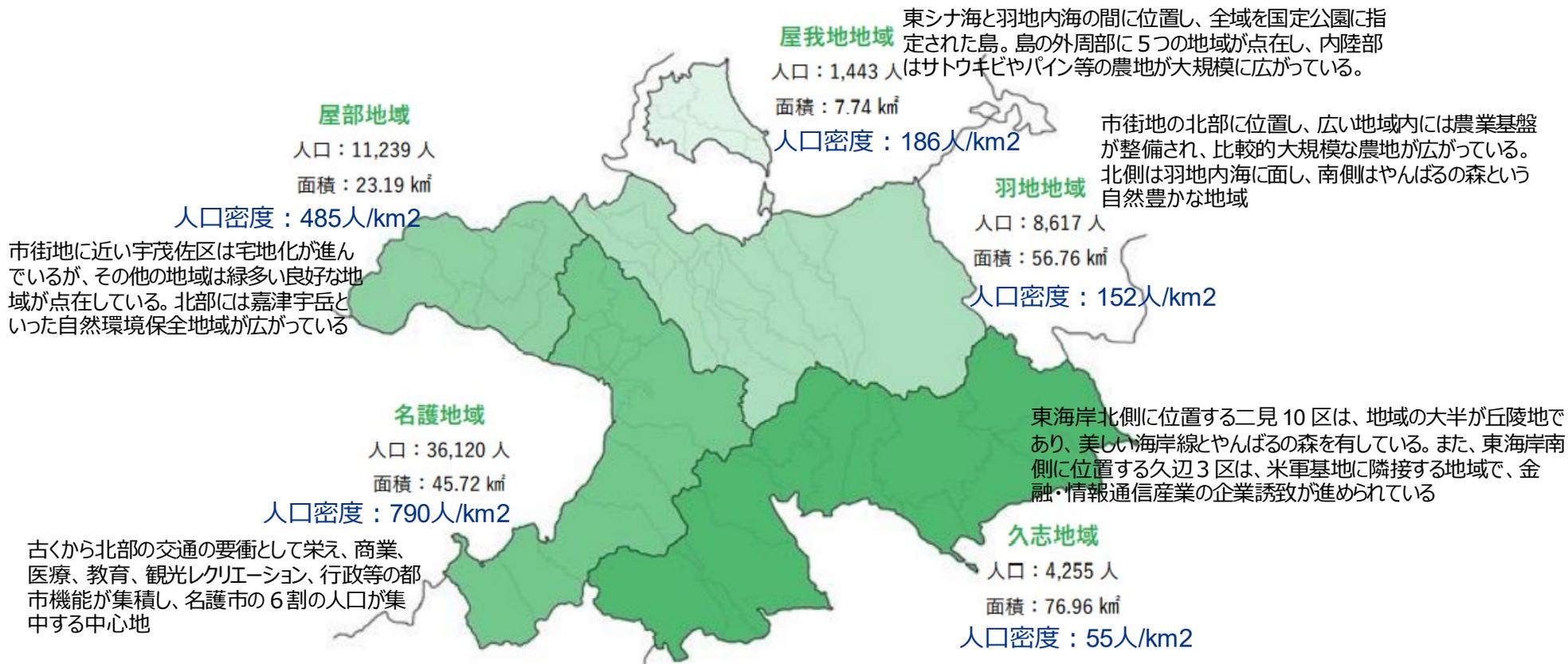


資料No.2-1

市民意識調査分析

1.各種市民意識調査結果分析：前提となる名護市のプロフィール（1）名護市を構成する地区

名護市と一口に言っても、地域によって性格は異なる。人口密度の観点では大きく都市部（名護・屋部）と自然豊かな地域（屋我地・羽地、久志）に分けられる。



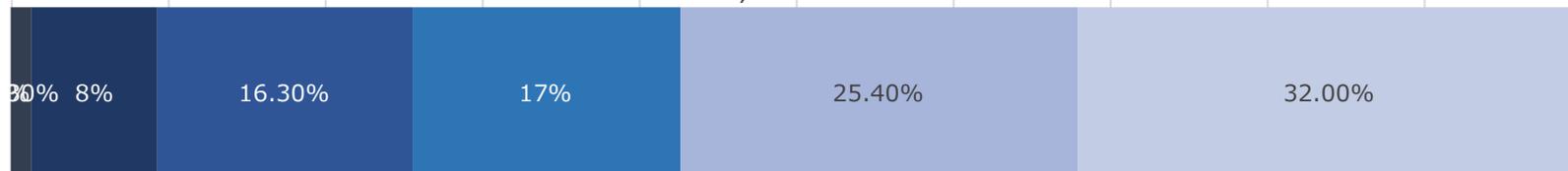
資料：国勢調査（平成27年）

2.各種市民意識調査結果分析：前提となる名護市のプロフィール（2）名護市の人口構成

現在の住民アンケート・意識調査では、60歳代以上の回答への偏りが大きい一方、現役世代・若年層の意見は収集できていない点に留意が必要である。

名護市年齢階層別人口構成及びアンケート回答者構成

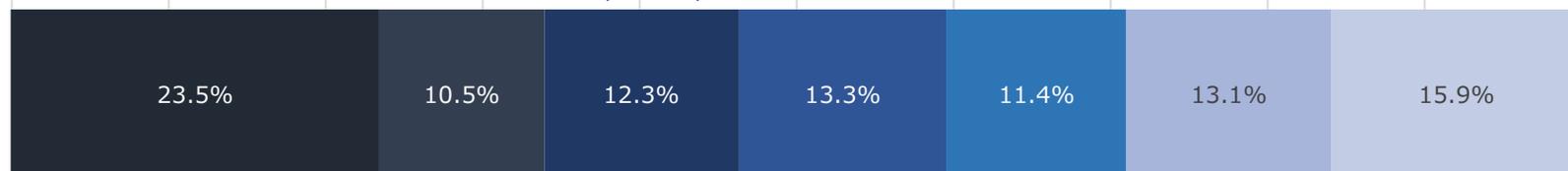
「名護湾沿岸基本計画」市民アンケート回答者属性 (n=448)



「第5次名護市総合計画策定に向けての基礎調査報告書」アンケート回答者属性 (n=1,100)



名護市年齢階層別人口構成（令和2年国勢調査, n=63,554）

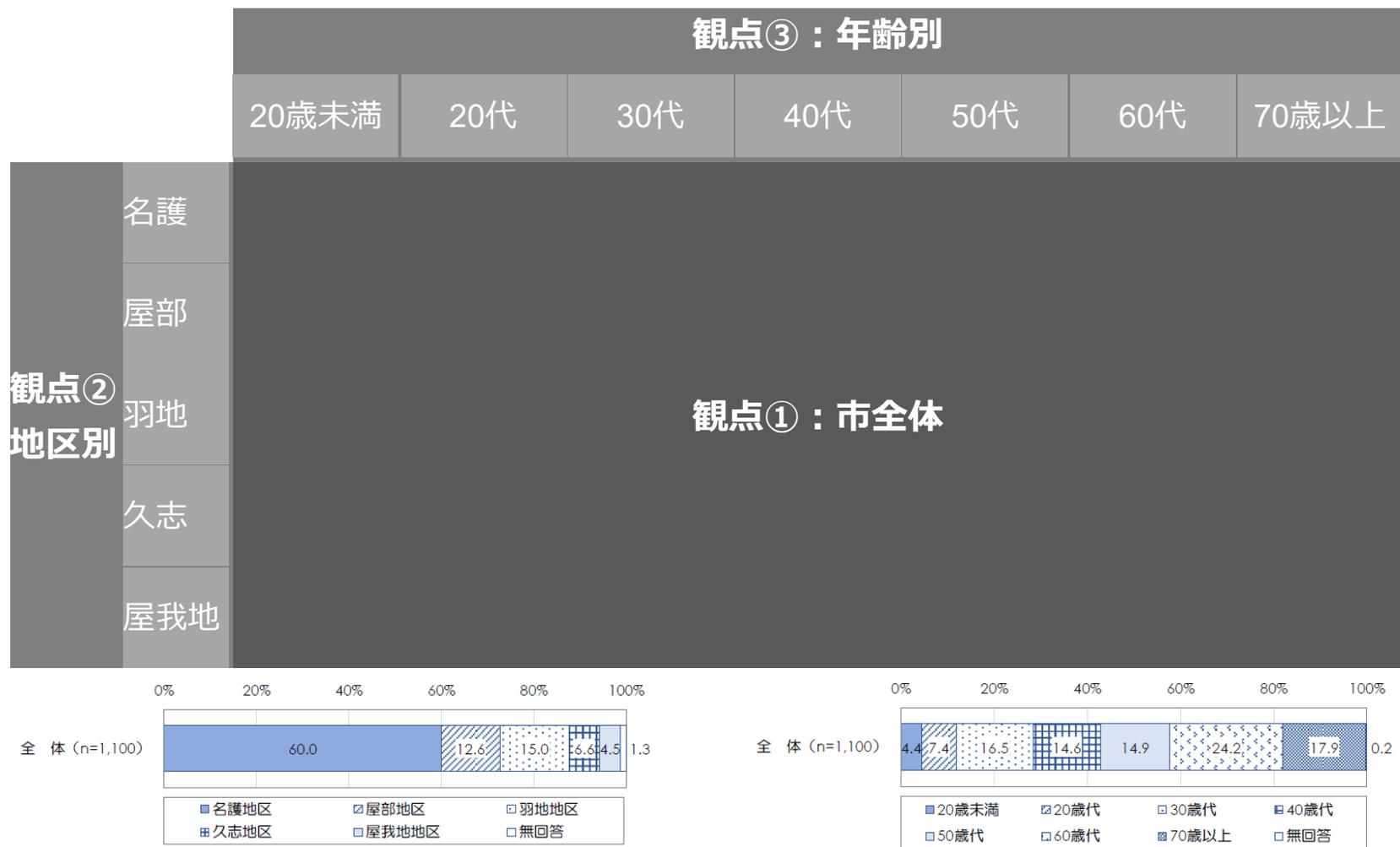


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

- 20歳未満
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上

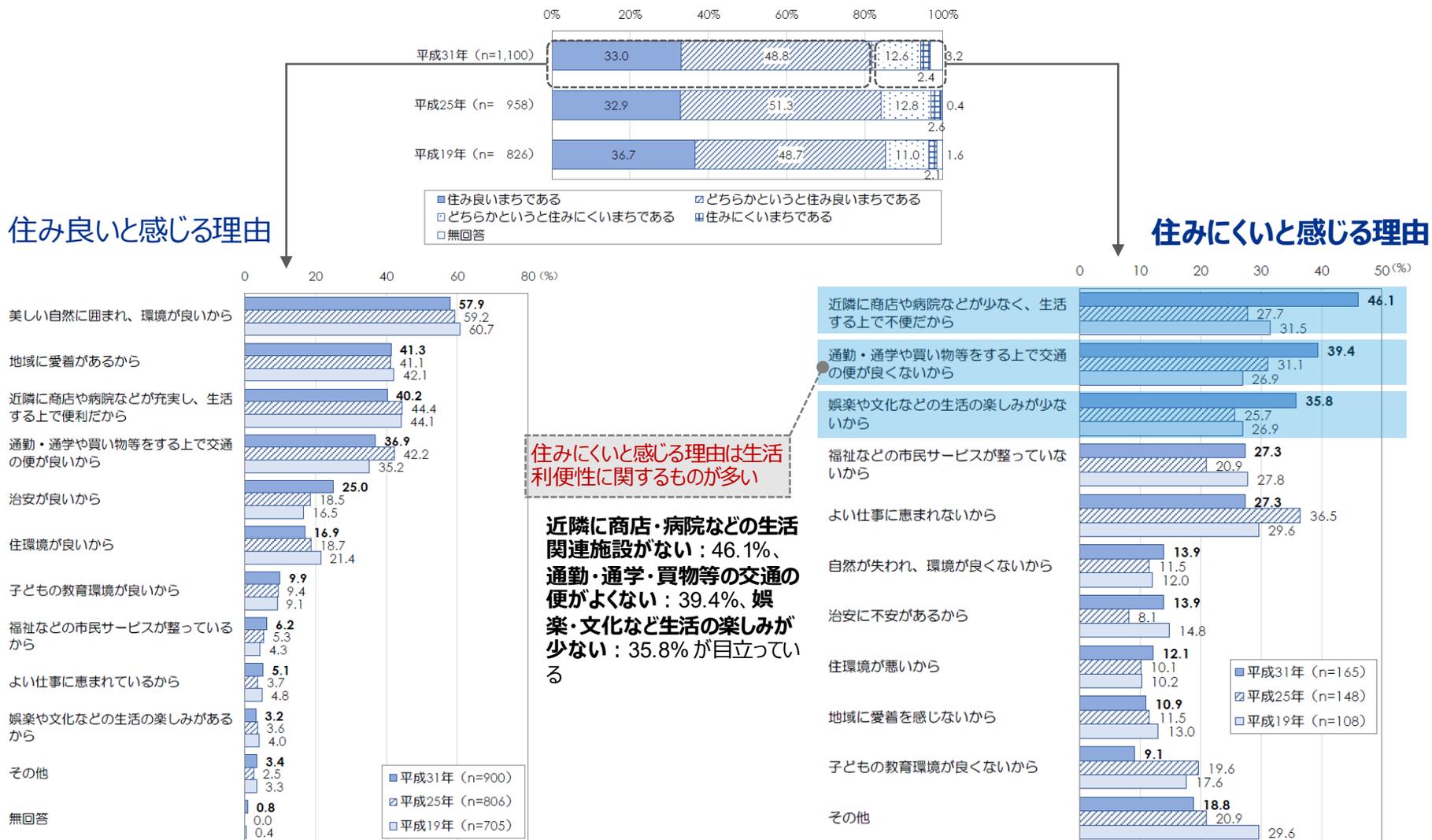
3.各種市民意識調査結果分析：本章における分析対象及び観点

第5次名護市総合計画策定に向けての基礎調査報告書〈アンケート調査結果分析編〉を3つの観点で整理する。



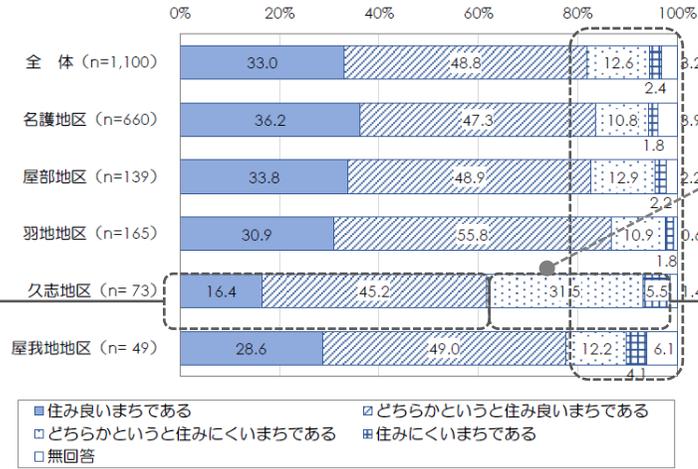
4.各種市民意識調査結果分析：市民の住み良さに関する課題認識：観点①市全体

住み良いと回答しない市民は20%弱だが、漸増している。住みにくいと感ずる理由は生活利便性に関するものが多い。



5.各種市民意識調査結果分析：市民の住み良さに関する課題認識：観点②地区別

久志地区の「どちらかという住みにくい」「住みにくい」評価が他地区に対して突出して多い。



久志地区で「住みにくい」と感じる人が突出して多い

住み良いと感じる理由

《地区別・性別・年齢別：住み良いと感じる理由》

	上段：回答者数 (人) / 下段：構成比 (%)												
	全体	美しい自然に囲まれ、環境が良い	地域に愛着があるから	近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから	通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから	治安が良いから	住環境が良いから	子どもの教育環境が良いから	福祉などの市民サービスが整っているから	よい仕事に恵まれているから	娯楽や文化などの生活の楽しみがあるから	その他	無回答
全体	900	521	372	362	332	225	152	89	56	46	29	31	7
	100.0	57.9	41.3	40.2	36.9	25.0	16.9	9.9	6.2	5.1	3.2	3.4	0.8
名護地区	551	314	212	250	234	134	85	51	31	31	16	14	5
	100.0	57.0	38.5	45.4	42.5	24.3	15.4	9.3	5.6	5.6	2.9	2.5	0.9
屋部地区	115	61	45	47	41	25	21	14	8	7	5	6	-
	100.0	53.0	39.1	40.9	35.7	21.7	18.3	12.2	7.0	6.1	4.3	5.2	-
羽地地区	143	88	64	55	53	31	21	14	6	6	3	1	2
	100.0	61.5	44.8	37.1	36.3	21.7	14.6	9.8	4.2	4.2	2.1	1.4	1.4
久志地区	45	25	32	4	4	10	6	4	4	1	1	3	-
	100.0	55.6	71.1	8.9	8.9	22.2	13.3	8.9	8.9	2.2	2.2	6.7	-
屋我地区	38	29	16	4	4	10	6	4	4	1	1	3	-
	100.0	76.3	42.1	10.5	10.5	26.3	15.8	10.5	10.5	2.6	2.6	7.9	-

久志は地域に愛着のある人の割合が他地区より多い

住みにくいと感じる理由

《地区別・性別・年齢別：住みにくいと感じる理由》

	上段：回答者数 (人) / 下段：構成比 (%)												
	全体	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから	通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから	娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから	福祉などの市民サービスが整っていないから	よい仕事に恵まれないから	自然が失われ、環境が良くな	治安に不安があるから	住環境が悪いから	地域に愛着を感じないから	子どもの教育環境が良くな	その他	無回答
全体	165	76	65	59	45	45	13	15	15	15	15	1	1
	100.0	46.1	39.4	35.8	27.3	27.3	7.9	9.1	9.1	9.1	9.1	0.6	0.6
名護地区	83	30	28	33	28	30	1	13	13	13	15	1	1
	100.0	36.1	33.7	39.8	33.7	36.1	1.2	15.7	15.7	15.7	18.1	1.2	1.2
屋部地区	21	8	8	10	7	4	1	1	1	1	2	1	1
	100.0	38.1	38.1	47.6	33.3	19.0	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	4.8	4.8
羽地地区	21	9	8	10	3	3	1	1	1	1	1	1	1
	100.0	42.9	38.1	47.6	14.3	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
久志地区	27	20	16	2	5	4	1	1	1	1	1	1	1
	100.0	74.1	59.3	7.4	18.5	14.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
屋我地区	8	5	3	3	1	2	1	2	1	1	1	1	1
	100.0	62.5	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5

久志で「住みにくい」と感じる理由は生活に不便だから

名護は仕事関係の不満も多いことが特徴

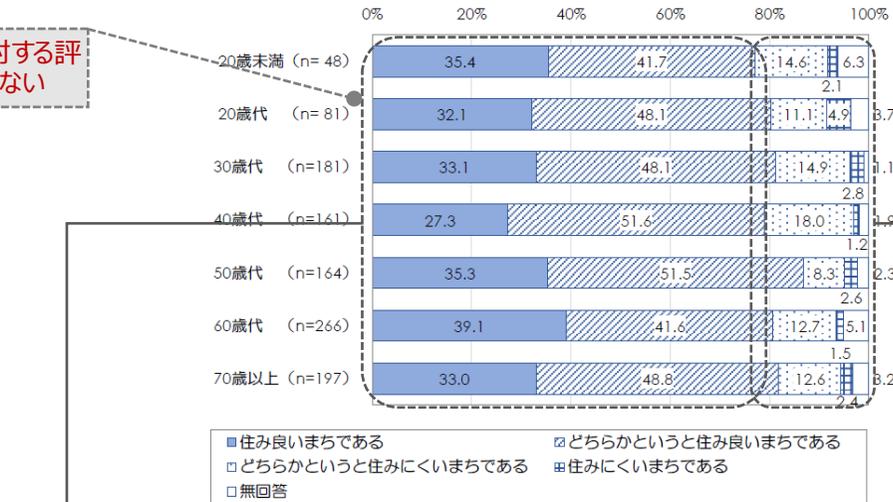
他地区は娯楽・文化などの生活の楽しみが少ないが理由

出典：第5次名護市 総合計画 策定に向けての基礎調査報告書<アンケート調査結果分析編>

6.各種市民意識調査結果分析：市民の住み良さに関する課題認識：観点③年齢別

住み良さの評価に年齢別で目立った差はみられないが、自家用車を運転しないと思われる年代の交通に対する不満が見える。

年代間で住み良さに対する評価で大きな差はみられない



住み良いと感じる理由

住みにくいと感じる理由

《地区別・性別・年齢別：住み良いと感じる理由》

《地区別・性別・年齢別：住みにくいと感じる理由》

	上段：回答者数 (人) / 下段：構成比 (%)												
	美しい自然に囲まれ、環境が良い	地域に愛着があるから	近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから	通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから	治安が良いから	住環境が良いから	子どもの教育環境が良いから	福祉などの市民サービスがあるから	よい仕事に恵まれていて収入が多いから	娯楽や文化などの生活があるから	その他	無回答	
全体	211	15	14	7	9	5	3	-	2	-	-	-	
20歳未満	37	15	14	7	9	5	3	-	2	-	-	-	
20歳代	65	30	18	32	19	10	8	1	5	3	-	-	
30歳代	147	76	50	54	68	26	23	34	12	4	5	-	
40歳代	127	78	41	49	62	17	19	15	8	5	8	-	
50歳代	133	73	59	50	58	34	21	7	10	2	4	1	
60歳代	231	137	107	103	63	65	41	11	16	7	8	-	
70歳以上	159	96	69	74	42	54	33	13	15	4	5	-	

地域に愛着のある若者 (20歳未満) は多い

自家用車を運転しない年代の交通に対する不満が見える

自家用車を運転する年代には近隣商店が少ないことはさほど悪い影響とならない

	上段：回答者数 (人) / 下段：構成比 (%)												
	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから	通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから	娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから	福祉などの市民サービスが整っていないから	よい仕事に恵まれないから	自然が失われ、環境が良くないから	治安に不安があるから	住環境が悪いから	地域に愛着を感じないから	子どもの教育環境が良くないから	その他	無回答	
全体	31	6	3	1	1	1	2	1	1	3	1	-	
20歳未満	3	6	3	1	1	1	2	1	1	3	1	-	
20歳代	13	4	8	3	2	2	4	1	2	3	3	-	
30歳代	32	13	11	8	14	1	4	1	4	4	6	-	
40歳代	31	14	13	50	25	43	3	12	3	12	18	-	
50歳代	23	14	11	6	5	4	5	11	7	10	5	-	
60歳代	29	14	9	7	11	11	5	11	11	11	5	-	
70歳以上	28	13	10	8	10	3	4	3	6	2	6	-	

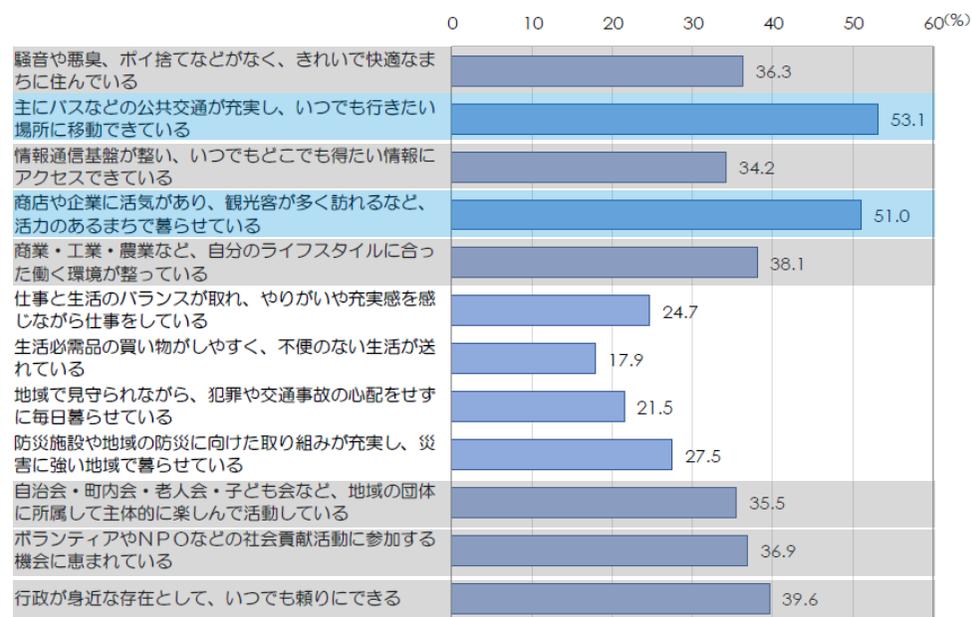
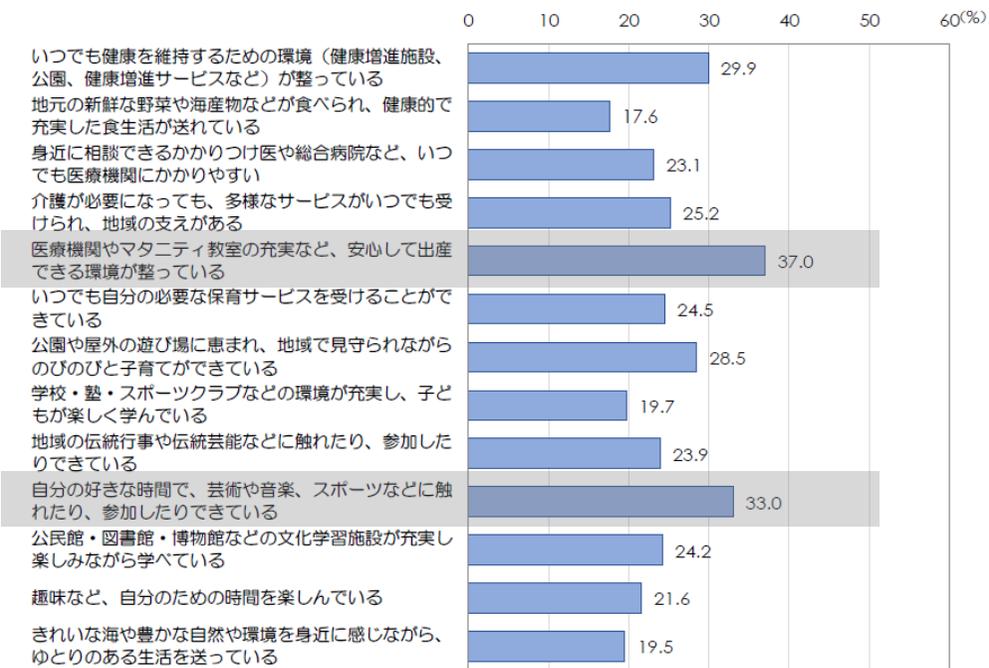
自家用車を運転年代であっても30代以下には娯楽が少ないことが住みにくさの理由

7.各種市民意識調査結果分析：日常生活に関する不満：観点①市全体

「地域での日常のくらしの不満点」

特に不満の大きい点：公共交通・移動利便性、商店・企業の活気・まちの活力

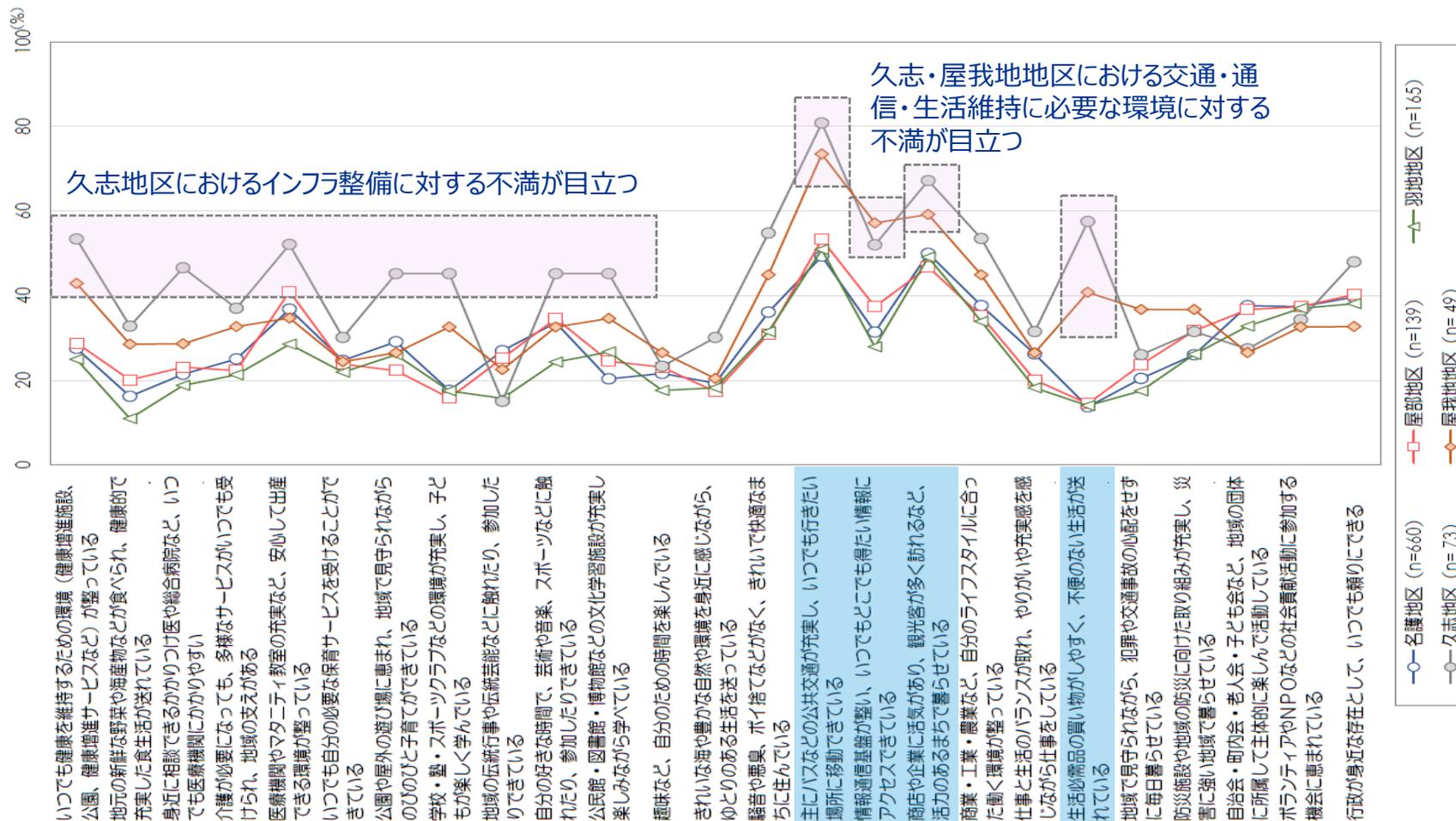
不満の大きい点：安心して出産できる環境、芸術・文化、生活衛生、情報通信基盤、多様な就業機会、コミュニティ活動・社会貢献活動、行政



出典：「第5次名護市総合計画策定に向けての基礎調査報告書」（平成31年5月）「地域での日常のくらしの不満点」

8.各種市民意識調査結果分析：日常生活に関する不満：観点②地区別

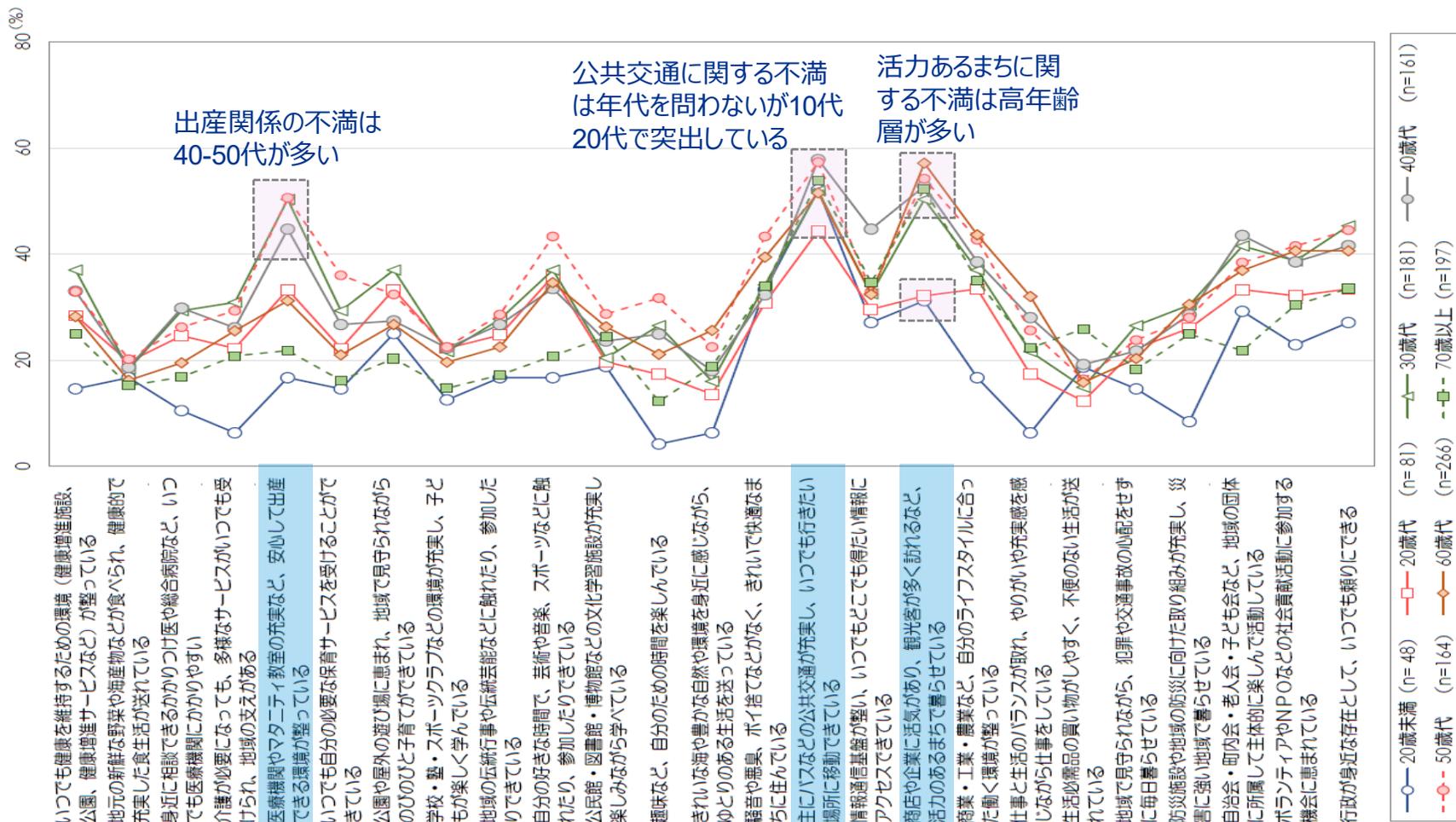
不満のあるポイントは地域によって異なっており、注力すべき点も異なる。久志地区におけるインフラ整備に対する不満が目立つ。加えて久志・屋我地地区における交通・通信・生活維持に必要な環境に対する不満が目立つ。



出典：「第5次各課市総合計画策定に向けての基礎調査報告書」（平成31年5月）「地区別：地域での日々の暮らしの不満点」

9.各種市民意識調査結果分析：日常生活に関する不満：観点③年齢別

20歳未満は全般に不満が少ないが、公共交通に関する不満が突出している。出産関係については当事者ではない40-50代が、活力あるまちに関しては30代以上が不満を持っている。

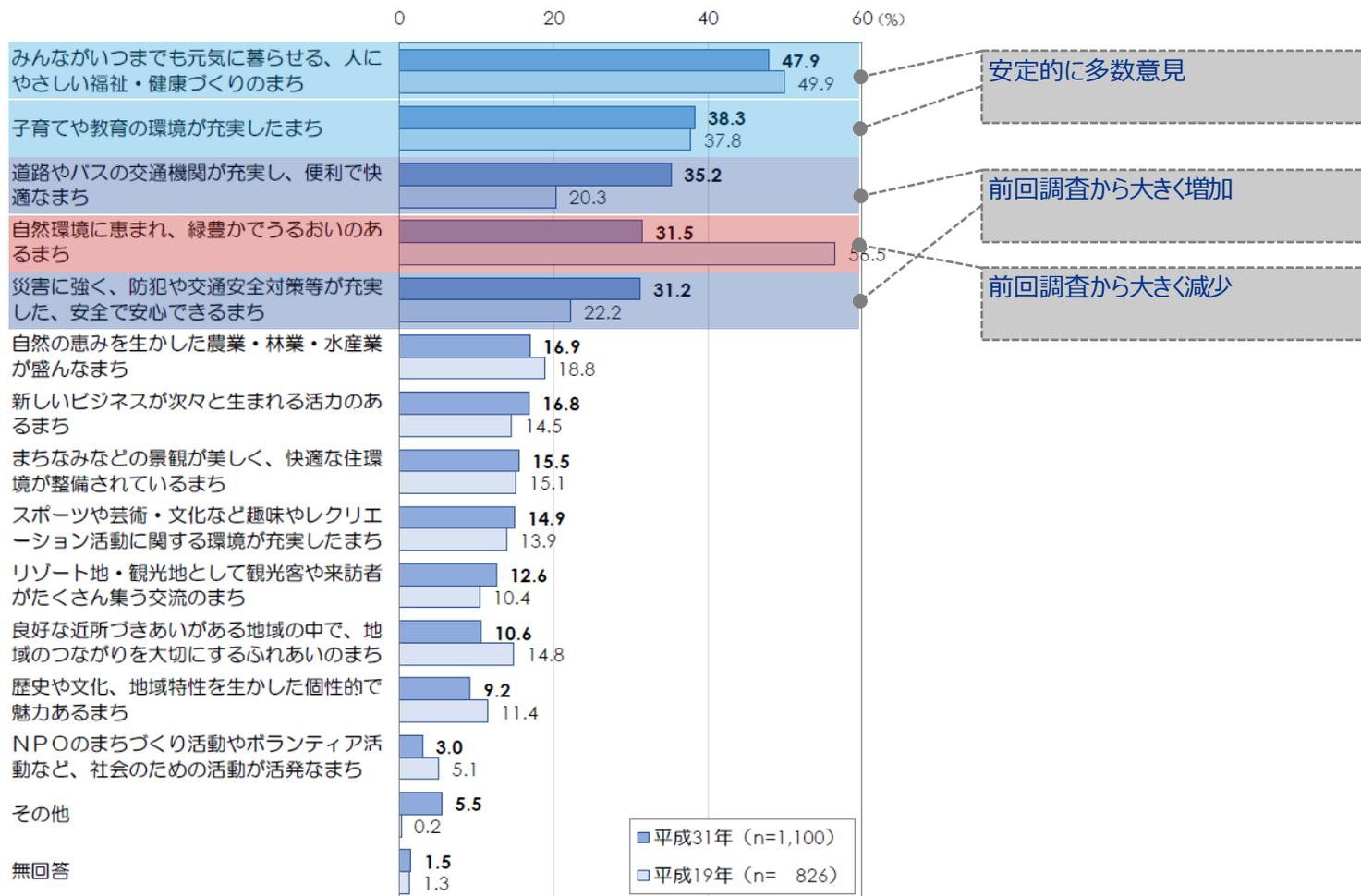


いつでも健康を維持するための環境（健康増進施設、公園、健康増進サービスなど）が整っている
 地元の新鮮な野菜や海産物などが食べられ、健康的で充実した食生活が送れている
 身近に相談できるかかりつけ医や総合病院など、いつでも医療機関にかかりやすい
 介護が必要になっても、多様なサービスがいつでも受けられ、地域の支えがある
医療機関やマタニティ教室の充実など、安心して出産できる環境が整っている
 いつでも自分の必要な保育サービスを受けられることができる
 公園や屋外の遊び場に恵まれ、地域で見守られながらのびのびと子育てができている
 学校・塾・スポーツクラブなどの環境が充実し、子どもが楽しく学んでいる
 地域の伝統行事や伝統芸能などに触れたり、参加したりできている
 自分の好きな時間で、芸術や音楽、スポーツなどに触れたり、参加したりできている
 公民館・図書館・博物館などの文化学習施設が充実し、楽しみながら学べている
 「趣味など、自分のための時間を楽しんでいる
 さわいな海や豊かな自然や環境を身近に感じながら、ゆとりのある生活を送っている
 騒音や悪臭、ポイ捨てなどがなく、きれいで快適なまちに住んでいる
主にバスなどの公共交通が充実し、いつでも行きたい場所へ移動できている
 情報通信基盤が整い、いつでもどこでも得たい情報にアクセスできている
商店や企業に活気があり、観光客が多く訪れるなど、活力のあるまちで暮らしている
 商業・工業・農業など、自分のライフスタイルに合った働く環境が整っている
 仕事と生活のバランスが取れ、やりがいや充実感を感じながら仕事をしている
 生活必需品の買い物がやすく、不便のない生活が送れている
 地域で見守られながら、犯罪や交通事故の心配をせずに毎日暮らしている
 防災施設や地域の防災に向けた取り組みが充実し、災害に強い地域で暮らしている
 自治会・町内会・老人会・子ども会など、地域の団体に所属して主体的に楽しんで活動している
 ボランティアやNPOなどの社会貢献活動に参加する機会に恵まれている
 行政が身近な存在として、いつでも頼りにできる

出典：平成31年度市民意識調査結果報告書（平成31年5月）

10.各種市民意識調査結果分析：名護市が目指すべきまち：観点①市全体

これからの名護市が目指すべきまちについては、健康・子育て充実を求める意見が安定的に多い。交通機関の充実・防災・安全については大きく増加してきている。これに対し、自然環境は大きく減少している。



出典：「第5次名護市総合計画策定に向けての基礎調査報告書」（平成31年5月）「これから名護市が目指すべきだと思うまちづくり」

11.各種市民意識調査結果分析：名護市が目指すべきまち：観点②地区別

福祉・健康づくりを求める意見は地区を問わず多い。子育て・教育は名護・羽地に多く、交通機関の充実には久志が最も多い。

《地区別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

	全体	上段：回答者数（人）／下段：構成比（％）														
		健康づくりのまち	子育てや教育の環境が充実したまち	道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かであるおののまち	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち	自然の恵みを生がした農業・林業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち	スポーツや芸術・文化など趣味やレクリエーション活動に関する環境が充実したまち	リソート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち	良好な近所づきあいがある地域の中で、地域のつながりを大切にふるあいのまち	歴史や文化、地域特性を生かした個性的で魅力あるまち	NP Oのまちづくり活動やボランティア活動など、社会のため活動が活発なまち	その他	無回答	
名護地区	660 100.0	320 48.5	267 40.5	210 32.2	201 30.5	217 32.9	100 15.2	110 16.7	108 16.4	105 15.9	89 13.5	69 10.5	66 10.0	23 3.5	30 4.5	9 1.4
屋部地区	139 100.0	62 44.6	48 34.5	54 38.8	44 31.7	37 26.6	19 13.7	26 18.7	24 17.3	18 12.9	18 12.9	16 11.5	13 9.4	1 0.7	8 5.8	3 2.2
羽地地区	165 100.0	81 49.1	63 38.2	63 38.9	56 34.1	52 32.1	35 21.2	28 17.0	23 13.9	27 16.4	19 11.5	15 9.1	11 6.7	3 1.8	11 6.7	2 1.2
久志地区	73 100.0	30 41.1	25 31.5	35 47.9	30 41.1	22 30.1	18 24.7	8 11.0	8 11.0	5 6.8	4 5.5	8 11.0	4 5.5	2 2.7	7 9.6	-
屋我地地区	49 100.0	27 55.1	14 28.6	19 38.8	13 26.5	12 24.5	13 26.5	10 20.4	6 12.2	4 8.2	7 14.3	7 14.3	5 10.2	4 8.2	2 4.1	1 2.0

福祉・健康づくりを求める意見は地区を問わず多い

子育て・教育を求める意見は名護・羽地に多い

交通機関の充実を求める意見は久志が最も多い

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を2番目に回答割合の多い項目を で色付けをしている。

出典：「第5次名護市総合計画策定に向けての基礎調査報告書」（平成31年5月）「これから名護市が目指すべきだと思うまちづくり」

12.各種市民意識調査結果分析：名護市が目指すべきまち：観点③年齢別

20歳代以下の若年層で交通機関充実を求める意見が多い。子育て・教育環境づくりを求める意見は20代から40代に多い。

《年齢別：これから名護市が目指すべきだと思うまち》

上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

	全体	福祉・健康づくりのまち	みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしいまち	子育てや教育の環境が充実したまち	道路やバスの交通機関が充実し、便利で快適なまち	自然環境に恵まれ、緑豊かでうらおいのあるまち	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち	自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなまち	新しいビジネスが次々と生まれる活力のあるまち
20歳未満	48 100.0	15 31.3	19 39.6	25 52.1	10 20.8	20 41.7	4 8.3	9 18.8	
20歳代	81 100.0	32 39.5	42 51.9	20 24.7	24 29.6	11 13.6	20 24.7	2 2.4	
30歳代	184 100.0	79 43.0	91 50.3	56 30.9	48 26.5	52 28.7	25 13.8	41 22.7	
40歳代	161 100.0	71 44.1	74 46.0	60 37.3	40 24.8	43 26.7	21 13.0	34 21.1	
50歳代	164 100.0	82 50.0	59 36.0	58 35.4	60 36.6	55 33.5	34 18.9	25 17.1	
60歳代	266 100.0	140 52.6	83 31.2	80 30.1	92 34.6	84 31.6	52 19.5	32 12.0	
70歳以上	197 100.0	107 54.3	52 26.4	74 37.6	75 38.1	65 33.0	42 21.3	21 10.7	

	まちなみなどの景観が美しく、快適な住環境が整備されているまち	スポーツや芸術・文化など活動味やレクリエーションが充実したまち	観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち	リゾート地・観光地として観光客や来訪者がたくさん集う交流のまち	良好な近所づきあいが地域の中で、地域のつながりを大切にするふれあいのまち	歴史や文化、地域特性を生かした個性的で魅力あるまち	NPOのまちづくり活動やボランティア活動が活発なまち	その他	無回答
20歳未満	8 16.7	13 27.1	9 18.8	3 6.3	1 2.1	1 2.1	1 2.1	1 2.1	-
20歳代	10 12.3	16 19.8	15 18.5	11 13.6	7 8.6	2 2.5	8 9.9	8 9.9	-
30歳代	36 19.9	33 18.2	25 13.8	24 13.3	16 8.8	7 3.9	13 7.2	13 7.2	1 0.6
40歳代	20 12.4	25 15.5	25 15.5	13 8.1	17 10.6	5 3.1	11 6.8	11 6.8	1 0.6
50歳代	31 18.9	21 12.8	20 12.2	12 7.3	20 12.2	2 1.2	10 6.1	10 6.1	1 0.6
60歳代	40 15.0	39 14.7	27 10.2	26 9.8	25 9.4	15 5.6	9 3.4	9 3.4	6 2.3
70歳以上	25 12.7	17 8.6	18 9.1	28 14.2	15 7.6	1 0.5	8 4.1	8 4.1	6 3.0

20歳代以下の若年層で交通機関充実を求める意見が多い

20歳未満の特に若い層で防災・防犯、安心・安全を求める意見が多い

活力あるまちは40歳代以下に比較的多い

子育て・教育環境づくりを求める意見は20代から40代の世代に多い

福祉・健康づくりを求める意見は高齢になるほどが多い

※集計表の色は、最も回答割合の多い項目を2番目に回答割合の多い項目を色付けをしている。

出典：「第5次名護市総合計画策定に向けての基礎調査報告書」（平成31年5月）「これから名護市が目指すべきだと思うまちづくり」